

北マケドニア講座

タイムレス、フレンドリーで、グルメな逸品の国

Timeless, Friendly, a Gourmet Gem

2020年2月2日（日） 午後2時～4時

会場： 調布市文化会館たづくり 9階 研修室（定員48名）

参加費： 1,000円（学生無料/会場払い）

申込み・問合せ 山田和子（Tel& Fax）042-488-0741

（Email） kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp

聖ヨヴァン・カネオ教会（撮影 Milana lovanova）& スコピエのオールドバザール（講師撮影）



北マケドニアとは？即座に答えるのは難しいと思います。ギリシャ、ブルガリア、アルバニア、セルビア及びコソボに囲まれ、旧

ユーゴスラビア解体後生まれたバルカン半島の国です。東西文明が交差し、東方正教の文化が育まれた地域に位置しています。マケドニア出身のゾリアさんに、日本ではなかなか聞けない北マケドニアの魅力を語ってもらいます。

◎講師 ゾリア・ペトコスカ・カラージェヴァ
東京在住
旅行記者、ジャーナリスト
2016年文部科学省奨学生として来日
東京外国語大学にて詩の研究



<ゾリアさんからのメッセージ>

マケドニアは、最近正式に北マケドニア共和国に改名された、地中海、東ヨーロッパ、トルコに近いヨーロッパ南部の小さな国です。従って、これらすべての地域の特徴を示し、常にそれらを繋ぐ架け橋となってきました。ローマ帝国時代には古いローマの道路が交差した最も戦略的な場所の一つでした。過去にビザンチン帝国の一部であったマケドニアには、オスマン帝国の遺産だけでなく、ビザンチンの遺産も数多くあります。これは、建築、料理などで明らかです。

マケドニア語はスラブ言語グループに属しています。キリル文字はマケドニアのオフリドにある教会大学で発明され、正統派キリスト教国に広まりました。この遺産の混在は、日本人を混乱させているかもしれません。

今回の私の講義で、いかに私たちの豊かな文化が何世紀にも渡り、抱かれてきたかを説明いたします。皆様のご参加をお待ちしております。